モモ病害虫発生・越冬状況（休眠期）　　調査地点：伊達地域９園地、福島地域９園地

令和４年３月 17 日
病 害 虫 防 除 所

（１）モモせん孔細菌病

前年秋期の新梢葉における発生ほ場割合は平年並でしたが、発生程度の高いほ場も見られました（図１）。

春型枝病斑は発芽後頃に発生するため、ほ場内をよく観察し、徹底して除去してください。また、開花直前及び落花直後の防除を徹底してください。

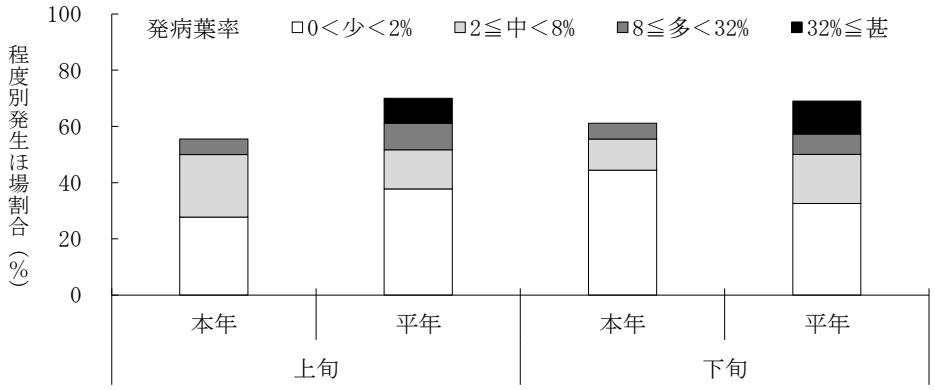

図１　モモせん孔細菌病の新梢葉での発生状況（2021 年９月）

（２）モモハモグリガ

前年の越冬量調査において、発生地点割合は平年並でしたが、一部地点で越冬成虫が多い状況でした。

初期の発生密度を抑えるため、第１世代幼虫発生期（落花 10 日後）にネオニコチノイド剤を散布しましょう。

（３）シロカイガラムシ類

前年秋期の側枝寄生の発生ほ場割合は、平年よりやや高い状況でした（図２）。

発芽前にマシン油乳剤を散布しましょう。

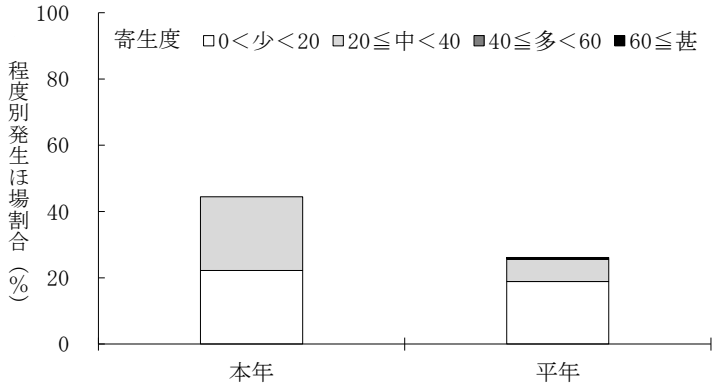

図２　シロカイガラムシ類の側枝寄生状況（2021 年 10 月）

（４）コスカシバ

前年秋期の発生ほ場割合は、平年よりやや低い状況でした（図３）。

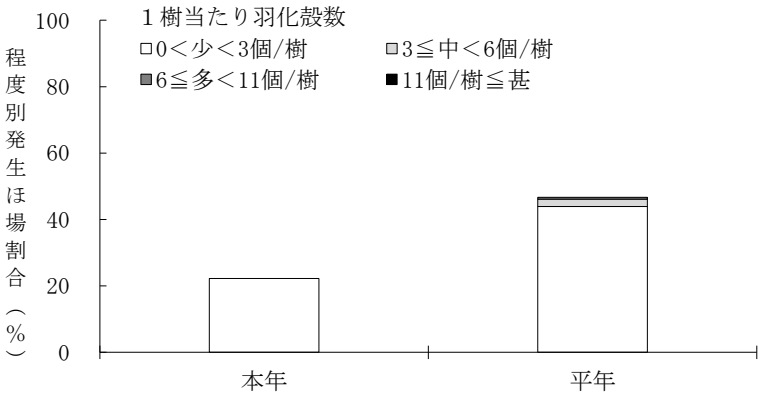

図３　コスカシバの寄生状況（2021 年９月）